

MAINICHI

新毎日

夕刊

6月12日(土)

2010年(平成22年)

発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社

毎週月曜・土曜日掲載

人・模・様

最貧国から支援を呼びかけ

アフリカ・マダガスカルで医療活動を行うシスターの牧野幸江さん(77)と写真家平間理子さん(70)が先月、インターネットを通じて、世界銀行東京開発ラーニングセンター(千代田区内幸町2)で、厳しい医療事情に支援を訴えた。

マダガスカルは、1人当たり国内総生産(GDP)が320ドル(07年)と世界最貧国の一つ。牧野さんは79年から計約19年、作家・曾野綾子さんの小説「時の



止まった赤ん坊」のモデルになった産院で助産師を務めている。平間さんは92年から約18年間、首都アンタナナリポの病院

で看護師長として現地の看護師教育などにあたっている。2人は、医療器具、薬の慢性的不足のため「治療は患者の体力頼み」という現状を報告した。09年3月のクーデター以降、欧米の支援停止や企業撤退で失業者が増加し、診療費を払えない患者が増加しているという。

牧野さんは「こっちは人は何でも使い切る。無駄にならないので何でも送ってください」と、ユーモアある口調ながら切実な表情で訴えた。

【吉永康明】